

「サウルの勝利」

2025.10.29

聖書に学ぶ 26

I サムエル記 11:1～15

リーダーに選ばれても、リーダーとして受け入れられるかどうかは別です。

公に、イスラエル最初の王は、神の選びとしてクジで、キシの息子サウルが選ばれました。しかし、確かに自分たちの王として、認め、受け入れるためには、王としての実力や実績を民に見せる必要があります。神様は彼をどのように変え、用いられるのでしょうか。

今日の学びの要点

サウルを王として選んだのは、民の意見によるのではなく、主からの選びと任命でした。神様は敵であるアンモン人の攻撃をも用いられ、ご計画を実行されます。私たちにとって最悪なことも主は用いて、主の業を進めるために用いられるのです。

I、ヤベシュの人々の叫び

(Iサムエル記 11:1～3)

1、 アンモン人が国境近くのヤベシュ・ギルアデの町に攻めてきました。

① ヤベシュの人々は何と言いましたか。(Iサムエル記 11:1)

② アンモン人ナハシュはヤベシュの住人にどのようなことを言いましたか。
(Iサムエル記 11:2)

③ ヤベシュの長老は、少しでもその時が後になるように何と願いましたか。
(Iサムエル記 11:3)

2、 ナハシュは7日間猶予し、イスラエル全土に知らせることを許しました。どうしてでしょうか (Iサムエル記 11:3)

- ・イスラエル全土への脅し
- ・助けなどは来ない
- ・王が選ばれていることを知らない

Ⅱ、神の霊が注がれたサウル (サムエル記 11:4～15)

- 1、ヤベシュからサウルのいるギベアまでの距離は 73 km です。
使者が来たとき、人々はどうしましたか。(徒歩毎時 5 km とすると、15 時間)

ギベアの人たち:

多くの人たちに影響を与えた… 声をあげて皆で泣くようになる

- 2、Ⅰサムエル記 10:6～7 には、神の霊が注がれると、どのように
なると語っていますか。

① サウル—神の霊…
 └— 心…

- ② この怒りはどのような怒りでしょうか。(サムエル記 11:6)

- ・イスラエル全体に恥辱を負わせるアンモン人
- ・神の民であるイスラエルへの恥辱は、神ご自身への恥辱

- 3、 サウルを王としてイスラエル全体に認められるために、神様
は周到に準備されています。(サムエル記 11:15)

- 1 回目：サムエルからサウルは個人的に油を注がれた。
- 2 回目：ミズパで民の前でクジを引かれ、サウルが選ばれた。
- 3 回目：アンモン人との戦いの後、ギルガルで王として立てられた。